

それいけ！ 広報リポーター

小倉利之リポーター



手と口を動かしながら、楽しく作業しました

お正月に備え、しめ縄づくり体験

12月1日、生出町地区で“たぐきり”会が開催。小倉フクさんを講師に、しめ縄づくり体験が行われました。参加した17人は7年目とあってワラの見立てや縄なえ、挟み込みなど手付きも口も軽やか。同会の開催は毎月1日、誰でも参加できます。

梅沢政隆リポーター



つきたての餅で、きな粉もちづくりを体験

夏井中で楽しい収穫祭

12月3日、夏井中学校で収穫祭が行われました。1年生19人が育てて収穫したもち米「ヒメノモチ」で、地区の農家の方々から指導を受けながら、餅つき、きな粉餅や赤飯づくりなどを体験。全校生徒と地区の皆さんでおいしくいただきました。

大久保勝男リポーター



つきたてのお餅をおいしそうに食べる児童たち

小久慈小学校で餅つき

小久慈小学校の5年生が、春から米作りに取り組み、稲刈りや脱穀作業を体験。12月2日に行われた収穫祭では、父母たちに手伝ってもらいながら、体育館に用意された臼5つで餅つきや、のし餅作りを体験。あんこやきな粉などでおいしく食べました。

冬の始まり、餅とサケに歓喜

第1回北三陸くじ冬の市が開催

10年目を迎える北三陸くじ冬の市は11月23日、中心市街地で開かれ、市民など約2,300人が地場産のサケをはじめとする旬の味覚やイベントを楽しみました。

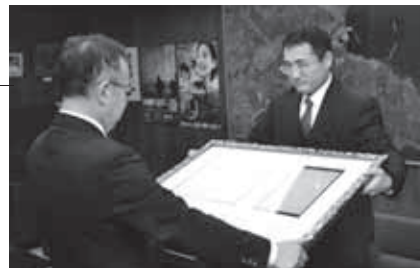
オープニングセレモニーでは、ちびっこあまちゃん隊や関係者による恒例の餅まきが行われ、会場は大盛り上がり。サケのチャンチャン焼きやイカ焼きの格安販売には来場者の長い列ができるほどの大盛況。新巻鮭作りの体験も行われ、来場者は魅力いっぱいの冬の訪れを感じていました。



1/お買い物券付きの餅まきに来場者も必死です 2/第1回のテーマ「サケ」のチャンチャン焼き 3/新鮮なサケを使って新巻鮭作りに挑戦する参加者

歴史や文化 観光にも生かす

「北限の海女」台本 複写を寄贈



海をイメージした額に収められた台本の複写

12月1日、晴山一貫さん(新井田)がラジオドラマ「北限の海女」台本の複写を市に寄贈。台本は祖父の福一郎さんがドラマの方言指導を行った際に使ったもので、当時の書き込みも残る貴重な資料。今後は、再建される小袖海女センターに展示予定です。



コミカルに演じ 笑顔を誘う

読書ボランティア 朗読劇を発表

劇の上演は今年で4回目。朗読劇は初の取り組みです

11月18日、小久慈小学校で同校の読書ボランティア「どっと笑え」が朗読劇を上演。出演者は魔女や山姥に扮し、オリジナル脚本の「ゆたかくん、熊さんに会った」をコミカルに怪演。同校の小田島誠一副校长も好演し、子どもたちの笑いを誘っていました。

熱演！「海女照」

久慈市民おらほーる劇場第8回公演

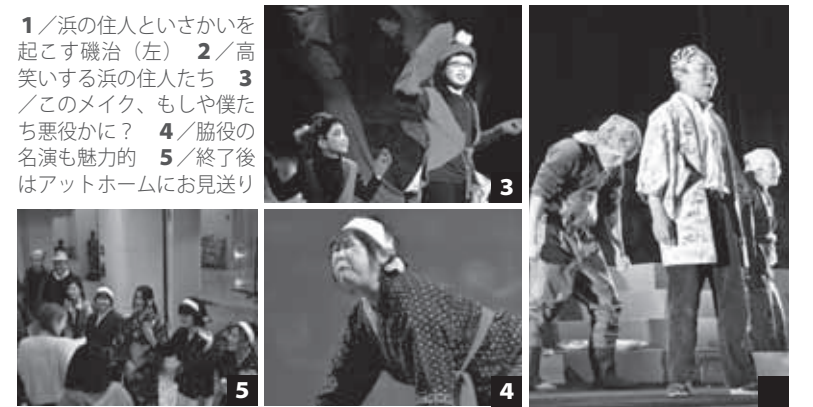
11月23日、山形町の山村文化交流センター（おらほーる）で久慈市民おらほーる劇場の第8回公演「海女照 AMATERASU」が上演。昼の部・夜の部の2回公演で、あわせて約500人が鑑賞しました。

今年のテーマは、自然との共生。山から流れ着いた「磯治」と、海から流れ着いた「オジョウコ」。2人を利用し自らの勢力拡大を狙う獣神と海神。囚われの母親を奪還するべく両者に立ち向かう2人と、海と山に翻弄されながらも、したたかに生きる浜の住人たち。そして「緑青の渦」が発生し…。機を失したと分かるや、あっさりとコミカルに引き上げていく獣神海神に対し、高笑いする浜の住人を配したラストシーンが印象的です。

今年度は、脚本・舞台美術・衣装・音楽に至るまで全てオリジナル。熱演を見せた出演者と、裏方の情熱あふれる舞台に、客席からは惜しめない拍手が送られました。



1/浜の住人といさかいを起こす磯治(左) 2/高笑いする浜の住人たち 3/このメイク、もしや僕たち悪役か!? 4/脇役の名演も魅力的 5/終了後はアットホームにお見送り



地域の昔話 語り継ぐ

大川目 むがあすむがす祭



朗読に、絵や小道具も駆使して発表します

11月30日、大川目公民館で地域の昔話を語り合う「大川目むがあすむがす祭」が開催。総合学習で伝承活動に取り組む大川目小学校3年生が、地元の言葉で昔話を発表すると、堂々とした「語り」と語り会場から大きな拍手が送られました。

山根温泉新たな 魅力を模索

べっぴんの湯 感謝祭



縄ないチャンピオンからその極意を教わります

11月30日、旧山根小中学校で「べっぴんの湯感謝祭」が開催。会場では、ステージ発表や縄ない選手権などのイベントが行われたほか、この日お披露目となったオカラを使用した新商品の販売も行われ、来場者から好評を博しました。

歌やダンスに 温かい拍手

歳末たすけあい 芸能大会が開催



元気いっぱい踊る山口保育園の園児たち

12月14日、歳末たすけあい運動の一環として「歳末たすけあい芸能大会」がアンパーホールで開かれ、保育園や福祉・ボランティア団体など21団体が出演。ステージで披露される歌やダンスに、会場からは温かい拍手が送られていました。

募金を重ねて 福祉に貢献

日本地下石油備蓄が市社協に寄付



坂本会長に募金を手渡す野見山所長(中央右)

12月18日、日本地下石油備蓄(株)久慈事業所(野見山哲夫所長)は、社員から募った募金125,485円を久慈市社会福祉協議会に寄付しました。同社の寄付は24回目で総額2,665,723円になります。募金は、地域での福祉活動のために活用されます。